

平成21年度第1回議会報告会 総括表

議会報告会参加者数

年代	30代		40代		50代		60代		70代以上		不明		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
増田	0	0	0	1	9	1	11	1	9	1	5	0	34	4	38
閑上	1	0	1	0	4	0	4	3	3	3	13	5	26	11	37
下増田	1	1	1	2	6	0	9	0	7	0	0	0	24	3	27
館腰	0	0	0	0	4	2	6	0	6	2	0	0	16	4	20
愛島	0	0	0	0	0	0	3	2	9	3	0	0	12	5	17
高館	0	0	0	0	2	0	8	0	9	0	1	0	20	0	20
名取が丘	1	0	1	0	0	0	7	1	4	2	0	0	13	3	16
増田西	0	0	0	1	2	0	6	0	5	7	0	0	13	8	21
相互台	0	0	0	0	5	0	8	0	3	4	1	0	17	4	21
ゆりが丘	0	0	0	1	1	2	4	3	3	0	0	0	8	6	14
那智が丘	0	0	1	0	3	1	4	3	2	1	3	2	13	7	20
男女別計	3	1	4	5	36	6	70	13	60	23	23	7	196	55	251
合計	4		9		42		83		83		30		251		

議会報告会意見・提言等項目別件数

地区別件数	項目別	件数	議長対応	常任委員会 対応	特別委員会 対応	市対応	対応済
増田	10 議員定数	10	0	0	7	0	3
閑上	14 議会報告会	9	4	0	0	0	5
下増田	18 議会活動	7	4	0	0	0	3
館腰	17 選挙活動	1	0	0	1	0	0
愛島	8 公共交通	6	0	0	0	6	0
高館	8 財政	5	0	0	0	3	2
名取が丘	16 防災	5	0	1	0	3	1
増田西	7 公民館・区長	5	0	0	0	4	1
相互台	8 職員	3	0		0	3	0
ゆりが丘	12 まちづくり	9	0	0	0	8	1
那智が丘	9 公用車	2	0	0	0	1	1
合計	127 行政改革	2	0	0	0	2	0
	市民歌	1	0	0	0	1	0
	道路	18	0	1	0	16	1
	河川	5	0	0	0	5	0
	公園	3	0	0	0	3	0
	下水道	2	0	0	0	2	0
	建設部まちづくり	4	0	0	0	3	1
	空港	1	0	0	0	1	0
	衛生	8	0	1	0	6	1
	教育	5	0	0	0	5	0
	観光	1	0	0	0	1	0
	文化財	1	0	0	0	1	0
	市民墓地	1	0	0	0	1	0
	介護	6	0	0	0	4	2
	子供	4	0	0	0	3	1
	敬老	2	0	0	0	2	0
	病院	1	0	0	0	1	0
	合計	127	8	3	8	85	23

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
増田	議員定数	議員を削減してどのようなメリットとデメリットがあるのか。	名取市議会では、昨年6月に「議会改革特別委員会」設置し、議会の一層の活性化やその果たすべき役割を認識し、議会の自己改革を進めることを目的に、次の3項目が付託され調査検討をしてきました。 1 「住民と議会との意思疎通の充実に関すること」 2 「議員の処遇と議員定数等に関すること」 3 「政策形成機能の充実に関すること」	議会改革特別委員会	1班
		議員報酬削減や議員削減の話ばかりだがプライドを持ってがんばれ。	この中で、市民アンケート調査や先進地視察などを行い、中間報告をまとめております。 今後、これらの要請事項も含め、さらに議論を深めて12月の最終報告を目指し、名取市議会の改革について方向性を出すため検討中であります。	議会改革特別委員会	
	議会報告会	なぜ議会報告会に執行部が参加しないのか。	あくまでも議会としてやっており、執行部は同席しません。	報告会で回答	
		議会報告会を継続して実施してほしい。	今後も継続して実施していきます。	議長	
	議会活動	一般質問を聞いていない議員が多い。緊張感が足りない。	議案審議は、議員全員が同じ土俵において質疑するのに対し、一般質問は、議員個人が市政について問いたただすものです。従って、共通の認識に立っていない懸念はあります。今後注意を喚起します。	議長	
		一般質問がいつ行われるかわからない。事前に知らせるべき。	定例会の招集日は、議会だよりでお知らせしています。一般質問は、通常、定例会会期の前半に行われています。詳しくは、議会事務局にお問い合わせをお願いします。	議長	
	防災	災害時の避難場所までの案内板を整備すべき。	市が進めています。サインを展示して市民に見てもらっています。	報告会で回答	
	公民館・区長	募金が最初から割り当てとしてきているのはおかしい。配布先をはっきりさせるべき。	現在、福祉関係事業として市民の皆様にご協力をいただいている募金関係事業は、市社会福祉課で担当する日本赤十字社の「社資」、社会福祉法人名取市社会福祉協議会で担当する市社会福祉協議会「会費」並びに宮城県共同募金会の「赤い羽根共同募金」の3つがあります。 日本赤十字社「社資」、「赤い羽根共同募金」についてはそれぞれ上部団体の「日本赤十字社宮城県支部」「宮城県共同募金会」が宮城県としての「目標額」をこれまでの実績等から設定し、それにより各市町村ごとに「目標額」を設定する流れになっています。また、市社会福祉協議会「会費」についても同じ考え方で、市社会福祉協議会が「目標額」を設定しています。 この「目標額」を基礎として、各地区の世帯数などで按分計算し、ご協力いただく「地区別目標額」を設定いたします。この「目標額」は、あくまで「目標」であり、「達成すべき割り当て額ではないので、目標額に達しなくてもかまわないこと」をそれぞれご協力をいただくための打ち合わせ会等でお伝えしております。 また、配布先について、日赤「社資」「赤い羽根共同募金」では、県全体での予算決算を県支部や募金会の広報誌でお知らせしています。なお、日赤「社資」は災害時対応の資材（炊きだし用釜、テント、資材倉庫など）の購入費、共同募金については歳末たすけあい募金とあわせて年末年始に支援が必要な世帯への提供資金としてそれぞれ活用しております。また、市社会福祉協議会「会費」はその会報紙においてその用途をお知らせしております。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
増田	行政改革	行革をやっているがその成果が見えない。行政改革の成果を公表発表すべき。	現在成果の公表は行っていませんが、今年度中の策定を予定している次期計画については、成果の公表ができるよう進めてまいります。なお、第三次行政改革大綱の理念を踏まえて策定した集中改革プランの達成状況については、平成21年4月1日現在で、33項目中25項目が実施済みと捉えております。（「検討」としている項目などを除く集計。）	市長	
	河川	増田川全体の堤防の草刈をすべき。	河川愛護回やスマイルリバー等の団体が、年に数回、堤防の草刈り作業を行っていただいております。それ以外の区間は、宮城県仙台土木事務所の発注により行っております。ただし、全区間は出来ないことから、今後、河川愛護活動団体等の組織育成が必要と考えています。	市長	
閑上	議会報告会	議会報告会は素晴らしい試みである。今後も続けてほしい。	ありがとうございます。続けたいと考えています。（議長、特別委員会）	報告会で回答	1班
	公共交通	なとりん号の接続が悪く、乗り継ぎに時間がかかる。路線と本数を見直すべきである。	閑上杜せきのした線利用による美田園駅あるいは、杜せきのした駅からの空港鉄道への乗り継ぎと捉えお答えします。閑上杜せきのした線を利用した場合の各駅における乗り継ぎ時間は、移動時間を含め30分以内で可能となっておりますことから御理解いただきたいと思っております。路線と本数の見直しについては、他の路線との兼ね合いもあることから地域公共交通会議に諮りながら検討してまいりたいと考えております。	市長	
		臨空地区は交差点ごとに信号があるが、閑上地区など、他の地区にはなく、格差があるのでは。	信号機の設置については公安委員会の管轄となります。臨空地区においては、新規開発に伴う道路の新設等に合わせた計画の中で信号機の設置が行われておりますことから御理解いただきたいと思っております。市内各地区や町内会等から市に寄せられた信号機設置等に関する要望につきましては、市に権限がないことから岩沼警察署を經由して公安委員会へ要望しているところですが、年間の信号機設置等に係る枠に限りがあるとのことから御理解いただきたいと思っております。	市長	
	まちづくり	閑上地区は何もされず、名取市における位置付けが低い。	名取市第四次長期総合計画において、閑上地区を以下のとおり位置付けております。 1 漁業者を含め、閑上地区の活性化を図るためには、海洋資源を新しい視点で生かした観光漁業への多様な取り組みへの展開が必要であり、漁港との調和を図りながら、気軽に海と親しめるような背後地を整備することが望まれます。 2 既成市街地の活性化や幹線道路の整備等を目的として、既存市街地に隣接する区域で一部市街地の拡大をはかります。 以上であります。閑上地区の現状課題を踏まえ、地域活性化のため、今後のまちづくり方針について具体的な検討を重ねていく必要があると考えております。	市長	
		閑上地区のまちづくりは観光でなく、一次産業の振興から始める恒久的なまちづくりをすべき。	閑上地区のまちづくりについては、一次産業である水産業の振興が不可欠であると認識しております。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
関上	まちづくり	小塚原地区には広い野地があり、工業団地など活用できないか。	小塚原地区は現在都市計画区域の市街化調整区域であり、農業振興地域の農用地区域に指定されていることから、工業団地として整備することは現状では難しいと考えています。	市長	1班
	市民歌	市民歌をもっと普及すべき。	市制施行50周年記念式典での市民との大合唱は記憶に新しいところですが、市民歌の普及という点ではまだまだ十分とは捉えていません。市各種行事における市民歌の斉唱の検討など、市民の方々に市民歌に目を向けていただく機会の創出に努めてまいります。	市長	
	道路	高柳地区の県道に歩道がなく危険。対応すべき。	県道関上港線の高柳地区（関上トラック付近）への歩道設置については、宮城県仙台土木事務所で今年度から調査を行う予定と聞いております。	市長	
		市道鍋島鰻子線の整備について、全体が進んでいない。	市道町頭築港線から鍋沼堀までは、概ね完成しております。また、鍋沼堀から市道小塚原中央線までの区間については、今のところ計画はありません。	市長	
		小塚原の農免道路全体が高校生の通学路になっており、危険である。	通学路については、交通ルールを守りながら通学するように、高等学校と連携を図りながら進めたいと考えております。	市長	
		小塚原地区の道路はL字路で危険である。対処すべき。	該当するL字路の場所は特定できませんが、この様な形状の路線は他の地区でも見受けられますので、今後、狭隘路線の整備を進めながら問題解決を図って行きたいと考えております。	市長	
	河川	増田川の水害を心配している。内水排水用の水門の整備をすべき。	増田川を管理している宮城県に聞いたところ、現在、内水対策での水門設置計画はありません。増田川の整備については、現時点においてほぼ完了をしており、内水排除となれば市の雨水排水の整備計画の中で今後検討して行く必要があると考えます。	市長	
	公園	関上地区に海浜公園が必要。子供と老人が憩う場が必要。	名取市第四次長期総合計画に広浦などの豊かな自然環境や貞山運河などの歴史的環境を生かした親水性の高い公園整備を進めるにあたり他部署（商工水産課）の事業計画や実施計画にむけた検討が必要になると考えております。	市長	
	教育	関上、下増田地区について、小、中学校の通学区域の線引きを見直すべき。（増田学区の一部を関上学区に）	増田地区、下増田地区、関上地区の通学区域について見直しをする考えは現在のところ持っていません。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
下増田	議員定数	議会改革に取り組むべき、議員定数を減らし報酬を増やしてはどうか。	<p>名取市議会では、昨年6月に「議会改革特別委員会」設置し、議会の一層の活性化やその果たすべき役割を認識し、議会の自己改革を進めることを目的に、次の3項目が付託され調査検討をしてきました。</p> <p>1 「住民と議会との意思疎通の充実に関すること」 2 「議員の処遇と議員定数等に関すること」 3 「政策形成機能の充実に関すること」</p> <p>この中で、市民アンケート調査や先進地視察などを行い、中間報告をまとめております。 今後、これらの要請事項も含め、さらに議論を深めて12月の最終報告を目指し、名取市議会の改革について方向性を出すため検討中であります。</p>	議会改革特別委員会	1班
		議員の数ではなく質の問題だ。役に立つ議員なら削減することはない。		議会改革特別委員会	
		議員の削減はいつまでに行うのか。腹案は出ているのか。		議会改革特別委員会	
		議員定数に対し1名オーバーという選挙ばかりだ。危機感がないのか。		議会改革特別委員会	
	選挙活動	選挙カーによる連呼は自粛すべき。合同演説会などを実施すべき。	<p>選挙カーによる選挙運動については、法令でも認められております。連呼していることについては、検討すべきところもあると考えております。</p> <p>合同講演会につきましては、実施場所及び立候補者の人数の関係から多くの時間を必要とするので、実施については難しいと考えております。</p>	議会改革特別委員会	
	公共交通	なとりん号の路線本数を見直すべきである。本数が足りず、実態に合っていないために乗客が少ない。	<p>下増田線と捉えお答えします。</p> <p>下増田線については、利用される方の実態や地域住民の方からの要望に対応するための運行起点の変更あるいは、利用される方の拡大を図るための運行路線の一部変更等を平成20年11月に行っているところです。</p> <p>今後も、市に寄せられました意見・要望等につきましては、地域公共交通会議に諮りながら検討してまいりたいと考えております。</p>	市長	
	防災	災害ボランティアの拠点となる「総合福祉センター」を建設すべき。	<p>「総合福祉センター」は、市の第四次長期総合計画の中で、「地域福祉の推進の核」となるよう、福祉全般にわたる機能を有した施設整備を図ることとしております。</p> <p>しかしながら地域福祉を取り巻く状況の変化は著しく、これから求められる「地域福祉推進」にあった施設整備が望ましく、見直し等の検討が必要と考えられます。</p> <p>市の福祉充実のために必要な施設機能の確認及び整理を行っていかなかで、「災害ボランティア」の拠点機能についての検討を進めていかなければと考えております。</p>	市長	
総合防災訓練時、サイレンが聞こえなかった。災害時に機能するように再点検すべき。		<p>総合防災訓練時にサイレンが聞こえなかったとのことですが、昨年度整備いたしました防災行政無線の放送施設につきましては、津波対策として閑上・下増田の一部地域を対象として設置しております。このことから、現時点では閑上・下増田の地域内でも一部地域にしか情報伝達が行えない状況となっております。現在、市内全域にこの施設整備を実施するための検討を行っておりますので御理解いただきたいと思います。</p>	市長		

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
下増田	公民館・区長	地区住民の拠点となる公民館に予算をつけ、独自の活動を行い、活性化すべき。館長に権限を与えるべき。	公民館の管理及び事業実施等に係る予算については、各公民館に予算を配当し、公民館において執行を行っています。 また、公民館事業の決定等については、名取市教育基本方針に従い、名取市公民館の運営方針を策定します。それを受け、各公民館では職員間で協議を行い、公民館の経営方針及び具体的な事業計画を策定し、その内容を公民館運営協力委員会に提示し、意見等を聴取したうえで決定しています。 館長の権限については、社会教育法第27条第2項により、公民館の行う事業についての最終決定は館長が行っています。また、名取市教育委員会事務決済規程における教育機関の長の専決事項があります。	市長	1班
	職員	市民と職員の言い争いを窓口の他の市民の前ですべきではない。議員だけでなく職員の質も問題だ。接遇に対する管理者の指導はどうなっているのか。	お見苦しい姿をお見せして申し訳ありませんでした。 接遇については日々の業務の中での研鑽はもちろん、採用直後、採用後5年目頃等、機会を設けて研修を行っているところです。 今後とも研修等の充実をはかり、皆様の満足を得られるよう努力したいと思います。	市長	
	まちづくり	下増田地区は開発により変貌を遂げつつある。市全体の公共施設の配置など、将来の計画を持つべき。	公共施設の整備にあたっては、当該施設の利用目的、整備に至る経過及び関連施設の配置状況等を総合的に勘案し、整備場所の選定を行っています。特に、利用形態が当該地域を主としたもの、あるいは全市域的な施設であるかによっても、そのあり方は大きく変わってくるものと考えます。前述のような整備施設の内容等を検討した上で整備場所を選定する必要があると考えており、現時点で将来に向けた施設の再配置計画等の策定は考えていません。	市長	
	道路	住民で道路花壇の除草を行った。街路樹の剪定など管理すべき。	計画的に管理しています。危険なところは優先的にやっています。	報告会で回答	
		農道に敷く砂利の質が悪い。目の細かい砂利を提供すべき。	目の細かい砕石については、砕石を申請する時に申し出されれば、提供いたします。	市長	
	河川	増田川全体の堤防の草刈をしてほしい。	河川愛護会やスマイルリバー等の団体が、年に数回、堤防の草刈り作業を行っていただいております。それ以外の区間は、宮城県仙台土木事務所の発注により行っております。ただし、全区間は出来ないことから、今後、河川愛護活動団体等の組織育成が必要と考えています。	市長	
	公園	美田園中央公園のバスケットコートは1面では足りない。公園のペットの糞害など管理の徹底を望む。	当公園は、ふれあい交流ゾーン、運動ゾーン、遊びと芝生ゾーンの3つのコンセプトで整備されております。バスケットコート等のストリートスポーツだけでなく園路を活用とした散歩やジョギングができるゾーンにもなっていることから、全体の調和からもスペース拡大には慎重に考えてなくてはならないかと考えております。 ペットの糞害については、飼い主のモラルに訴えざるをえないと考えます。公園内各所に看板を設置するなどの啓発活動を推進します。	市長	
		市内の公園に砂を提供してほしい。	公園施設の要望について連絡を頂ければ、現地確認を行い対応したいと思います。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
下増田	下水道	下増田地区は開発が進む一方、下水道整備が進まない地区もある。	<p>公共下水道事業による整備につきましては、平成20年度からおおむね平成30年度までの10年間で14地区（下増田地区では広浦地区の一部及び杉ヶ袋横手地区の一部が含まれます）を対象に整備を完了させる計画で進めております。これらの14地区の取組年次計画につきましては、対象地区の人口規模や地形等の地域特性を勘案しながら順に進めていきたいと考えております。</p> <p>現時点で着手等している地区につきましては、（1）太子堂地区の一部（平成20年度で完了）（2）愛島学市地区の一部（3）下余田地区の一部（4）高館第4（熊野堂）地区の一部4地区であり、その他で今後調査事業等に着手する地区の順番は、（1）本郷地区の一部（2）堀内南地区の一部（3）川上地区の一部（4）村区地区の一部（5）広浦地区の一部（6）本郷六軒地区の一部（7）高館元中田地区の一部（8）高館中在家地区の一部（9）小豆島東地区の一部（10）杉ヶ袋横手地区の一部として計画しております。</p> <p>但し、今後の財源確保ができることが前提条件となります。また、その他の地区については、合併処理浄化槽設置補助事業による整備地区として計画しております。</p>	市長	1班
	子供	美田園地区は子供が急増している。児童館や図書館の設置を希望する。	<p>小学校1年生から3年生を対象とする下増田放課後クラブは下増田幼稚園舎をお借りして実施しています。下増田小学校の児童数も大分増加し、放課後児童クラブの定員を30人から40人に拡大して対応してきているところです。市としても小学校学区単位での児童センターの整備を目指しており、もう少し時間をいただきたいと考えています。図書館については、下増田公民館図書室の蔵書の充実を図っていきます。</p>	市長	
館腰	議会報告会	井戸端トークは市長が職員を後に並べてやっているが、それと違ってよいと思う。	お話を承ります。	報告会で回答	4班
		今後の報告会は夜の開催にしてほしい。	開催時間については、昼または夜と意見が分かれるところであります。今後、土曜日、日曜日も含めて開催時間を検討したいと思えます。	議長	
	防災	堀内でも防災マップができたが、防災意識が薄くなっているように思える。訓練場所の公園が小さい。また、堀内の避難場所はフクベイフーズだが、水の流れに逆らって上流に行かなければならない。おかしい。	堀内地区においては、自主防災組織設立にむけ推進を図っているところであり、災害に合わせた避難経路及び地域にある集会所等を、一時避難場所としての活用などを含めて防災マップづくりをお願いしています。避難場所については、災害の種類や被害状況により避難場所を指定し、住民へ周知をしながら対応を図っていくものであります。堀内地区には、水害に対応できる公的施設の避難場所がないため、フクベイフーズにお願いし、一時避難場所として確保しているものであります。	総務財政 常任委員会	
まちづくり	名取市は新たなまちづくりが行われ、発展していると言われているが、既存市街地の街並みは変わっておらず、それが見えてこないように思う。	平成12年に策定した中心市街地活性化基本計画に基づき、名取駅の橋上化と東西自由通路、名取駅東口駅前広場、都市計画道路名取駅開上線の整備が完了しております。平成18年に「中心市街地の活性化に関する法律」が改正され、本市においても新法に基づき地域の方々や商店主、名取まちづくり会社等、多くの人々の参画により、中心市街地活性化基本計画の見直しを行いました。新しい基本計画では、中心市街地の居住促進や防災性の向上、緑化の促進、集客力のある商業施設整備、事業所の誘致や企業促進を進めます。今後は地域の方々や名取まちづくり会社と共に、再開発事業の検討を進めてまいります。	市長		

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
館腰	公用車	ハイブリットの市長公用車購入は公約違反でないか。市の負担がないから購入していいものではないはず。別なものを優先すべきでないか。	6月補正予算の内容を報告しました。	報告会で回答	4班
	道路	市道の草刈りについて。なぜ農家だけがやらなければならないのか。農業者も年老いてきている。	市で実施している草刈り箇所は、幹線道路と視距が悪い箇所を優先に実施しております。草刈りについては、農家だけでなく町内会等で実施している路線もあります。農家の方々は、農作物管理を目的として実施しているものと捉えておりますので、今後ともご協力お願いしたいと思います。	市長	
		飯野坂の100円クリーニングのところのバイパスY路交差点について、仙台方面から右折できるようにすべき。	右折禁止等の交通規制については、公安委員会の管轄となり、市の権限はありません。 当該箇所については、交通量が多いことから事故防止とバイパスへの円滑な誘導による渋滞緩和のための規制と聞いております。万が一、右折可能とした場合、植松境踏切までの距離が短く列車通過時等における渋滞や事故の危険性の高まりが懸念されることから現状の規制について御理解いただきたいと思ひます。	市長	
		市道本郷堀内線の改良で、マンホールが真中で路面から高い箇所が4箇所ある。危険なので対処してほしい。	市道本郷堀内線の当該箇所については、約160メートルにわたり工事中となっており、表層1層がない状態となっています。工事完了後に段差となる打ち継ぎ目が出ないようにするため、残工事区間90メートルとあわせ一体的に表層を施工する必要があり、その結果、現状ではマンホール2箇所、仕切弁1箇所が路面から高くなっていますが、舗装のすりつけを行うことにより段差の解消が図られており、また、当該箇所の手前には、注意を喚起する看板が立てられています。 舗装工事は平成22年1月に実施の予定であり、安全対策への配慮もされていますが、一日も早い工事完了となるよう、担当課へ要請を行いました。	建設水道 常任委員会	
		市道本郷堀内線他数箇所で、歩車道ブロックに雑草が伸びて見えない状況にある。	当路線と歩道がある路線を確認し、視距が悪い箇所については業者または市にて除去するようにします。	市長	
		堀内地域の本郷堀内線を除く路線には狭隘な道路が多い。待避施設の設置を望む。	今後、地域内の現状を調査し検討していきたいと考えております。	市長	
	空港	航空機の騒音対策について、騒音のデータは平均値で公表されているが、実質のデータを公表すべき。	航空機騒音に係る環境基準は、環境基本法第16条第1項の規定に基づき行っており、基準値はWECPNLで表現されます。これは音の質や大きさのほか、持続時間、飛行回数、時間帯を総合的に組み合わせて騒音を表すようになっています。騒音の大きさだけでなく、騒音が発生した時間帯や回数等の条件を加味することにより、dBよりも人の感じる騒音が評価できるようになっています。	市長	
	衛生	館腰遊歩道の犬の糞が迷惑だ。環境衛生を守るようにすべき。始末したものを紙に包み扉の中に投げる悪質者もいる。	犬の糞の始末については飼い主の責任であり、モラルに訴えるしかありません。いままで看板の掲示や市広報への掲載を行っていますが、狂犬病予防注射時など、なお機会があれば飼い主に対し呼びかけていきたいと考えています。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
館腰	教育	館腰遊歩道を小学校の通学路として朝の時間だけでも認めるべきである。	通学路は、各学校が児童生徒の通学の安全の確保と、教育的環境維持のために指定している道路です。学校において通学路を指定するにあたっては、教職員が実地調査をし、①交通量、②交通安全施設の整備状況、③川、がけ、工事現場、踏切などの危険箇所の有無、④道路の状況、⑤交通規制、⑥いかがわしい広告・看板などの有無などについて、警察署、交通安全協会、道路管理者、交通指導員、地域の関係者の意見を求めているところであります。市としては、要望があった旨学校に連絡いたしたいと思っております。	市長	4班
	文化財	国指定の雷神山古墳が、杉が伸びてきて4号バイパスのほうから見えなくなっているの見えるようにすべき。	雷神山の東斜面に植林されていた杉が年々伸び、古墳の墳丘が見えにくくなってきておりますので、対象となる範囲を調査したうえ、間伐や枝払いなど必要な処置を段階的に行っていきたいと考えております。	市長	
	子供	児童センターを小学校の近くに作るのはなぜか。コミュニティ施設の中につくり、高齢者との交流ができるようにしたほうがよいのではないか。児童センターについて、日中高齢者が利用でき、子供と交流できるような検討をすべき。	児童センターは、児童に健全な遊びを与え、幼児及び少年を集団的及び個別に指導して児童の健康を増進し情操を豊かにするとともに、母親クラブ等の地域組織活動の育成助長を図るために設置しております。対象者は主に小学生であり、このため小学校に隣接した場所に整備しているケースが多くなっています。児童センターや公民館等で子育て支援の一つ又は地域交流として子どもたちと交流していきたいというご意見と存じますが児童センターでも地域の方々が子どもとの遊びを通して地域交流を進められたらと考えているところです。是非児童センターで子どもたちと交流を図ってほしいと考えておりますので児童センターへ相談願います。	市長	
	敬老	敬老祝い金の支給方法について。89歳以上は誕生日に直接市職員が持参している。それ以下の老人には、敬老の日に区長が支給している。死亡の時期を考えると不公平でないか。	9月に支給する敬老祝金は、その年80歳から87歳になる方全員に9月に支給するため、約2,700名の方が対象となり、担当職員では配布できないことから、区長に配布を依頼しております。また、祝金を支給する際は、対象者を確定するため、基準日を設ける必要があり、その基準日の前に死亡した場合には、支給の対象とはなりません。	市長	
		敬老会のお祝い饅頭を商品券にすべきでないか。そのほうが地域活性化に繋がるのではないか。饅頭を一年も持っている人もいる。	平成21年度の敬老会記念品は、地域経済活性化の観点からはなもも商品券としております。	市長	
	愛島	議員定数	議員の定数について、どうなっているか。	議会改革特別委員会が中間報告をし、定数減の方向で話し合いを続けています。	
財政		ふるさと創生1億円の活用について。利子の活用で中学生を海外に出しているが、元本はどうなったか。	昭和63年度と平成元年度の2ヵ年にわたり交付されたふるさと創生1億円につきましては、名取市ふるさと振興基金を設置して全額積立を行い、毎年度、基金からの繰入金により中学生の海外派遣等の事業を行っております。しかしながら、基金の利子だけでは事業費を賄えないため、原資も取り崩して事業費に当てております。これまで、中学生の海外派遣など国際交流の事業主体となっております名取市国際交流実行委員会への助成金（全額基金からの繰入）は総額で1億5,580万円となっており、ふるさと創生1億円を上回る事業を実施しております。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
愛島	道路	渋滞緩和のために道祖神交差点に右折レーンの設置を。	これまで「主要地方道仙台岩沼線改良整備促進期成同盟会」で要望をしてきた経過がありますが、当該交差点の南方の市道潜穴線と同県道との交差点に、右折レーンが設置完了したこと、また、都市計画道路愛島西部線の街路決定がクリーンセンター入口で接続する計画がありますので、この交差点への右折レーンの設置は難しいものと考えています。	市長	4班
		東北縦貫自動車道へのアクセスについて、働きかけをすべき。	東北縦貫自動車道へのアクセスについては、地域高規格道路「宮城県横断自動車道」の早期着工について、仙台都市圏広域行政推進協議会並びに仙台市・名取市広域行政協議会を通じこれまでも県に要望を重ねてきました。また、平成20年12月に「東北自動車道と仙台空港との広域交通ネットワーク」の整備促進について、県知事に接要望を行った経過もあります。様々な機会を通じ県に働きかけを行っているが、未だ事業化の目途はついていません。今後ともねばり強く働きかけを行ってまいりたいと思います。	市長	
		志賀沢川右岸の道路について。これまで陳情を何度とやっているが。救急車も消防自動車も霊柩車も進入できない。	関係地権者から用地の提供はある程度了解をいただいていたが、地元住民との意見の食い違いにより、最終段階において話し合いが決裂している状況であります。今後、地元の状況を勘案しながら対応していきたいと考えております。	市長	
		北目原橋への歩道の設置について。進んでいない。	平成27年度以降に事業着手できるよう計画しております。	市長	
	衛生	ごみ還元策について、議会は、地元の要望を最大限満たすようにとの附帯決議をしたが、議会としてその後どう取り組んでいるのか。 ・指示通り市長に産直の事業計画書を提出しても、何らその対応が無い。産直は時代遅れという声も聞くが約束事項である。約束を守らないのでは最低である。 ・農業政策について、議会で議論されていないのではないかと。仙北は行政、JA一体となって取り組んでいる。	ごみ処理施設に対する地域還元策として地元との約束事項であります産直施設、集会所等の施設設置については、早急を実現するよう取り組んでいます。	市長	
子供	愛島は子供の数が増加している。山手に保育所や幼稚園の拡充をして欲しい。	今までは、地域性や保育ニーズの必要性から公立幼稚園がある地区には保育所を整備してきておりません。愛島地区は新しいまちづくりの進展により人口が伸びてきており、保育所への入所希望者も増えてきていることは理解しております。しかしながら、保育所の設置場所は居住地のみならず、通勤エリア等もあわせて考えていくことも必要です。これを踏まえ検討してまいります。 あらたな市立幼稚園を設置する予定はありません。	市長		
高館	議員定数	議員定数を削減すると発言している議員がいるがどうなのか。	議員削減については議会改革特別委員会で検討中である。	報告会で回答	2班
	議会報告会	議会報告会参加者が少ないが、周知方法が悪いのではないかと。	今回は、初めての議会報告会であったので、周知方法等については、反省すべき点が多々あったようです。今後、できるだけ参加者が多くなるよう、よりよい周知方法を考案したいと思います。	議長	
		議会報告会で市政全般について取り上げたことは大変素晴らしい。今後とも市政の発展に努力してください。	ありがとうございます。	報告会で回答	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
高館	議会活動	議会を傍聴しやすくするため、土日の開催も検討すべきである。	議会広報特別委員会で研究中です。	報告会で回答	2班
	道路	柳生生協からがんセンターの道路（市道仙台道路線）の農道高館49号線接続部の辺りに横断歩道を整備してほしい。 また、農道高館49号線の舗装を農政課にお願いしているが早くしてほしい。	横断歩道については、公安委員会へ関係課を通じて要望したいと考えております。また、農道高館49号線の舗装工事については、早期に進めます。	市長	
		市道熊野堂柳生線の整備はどうなっているのか。	国道286号から市道三日町熊野堂線までは完成しております。仙台市柳生地区までの区間については、平成25年以降の着手を考えております。	市長	
	下水道	合併浄化槽の補助制度は何年まで有効か。	平成20年度からより効率的に下水道の普及を進め水洗化を促進するため、これまで公共下水道事業及び農業集落排水事業で整備計画していた区域の一部を合併処理浄化槽設置補助事業区域に変更及び合併処理浄化槽補助制度の拡充を図っているところであり、平成20年度末時点での合併処理浄化槽設置補助事業区域で合併浄化槽を設置していない戸数は約850戸と捉えております。財源確保ができることが前提条件とはなりますが、一日も早い水洗化を促進するため現時点では合併処理浄化槽の補助制度について廃止等の予定はありません。	市長	
	病院	名取市に救急病院を設置するのはどうなっているのか。	救急総合病院の設置については、平成17年度に2件の陳情がありました。病院の建設が可能であるかの判断基準の一つに、医療法の規定による基準病床数があります。現在、名取市は仙台医療圏域での病院建設は、特例的な病院（産婦人科、小児科いずれも19床以下）以外は、移転を除き建設はできないこととなっています。	市長	
名取が丘	議員定数	議会改革特別委員会の検討内容について 議員定数について	中間報告の内容を報告しました。5年前の26名から2名削減のときは4案（現状維持、2名減、6名減、半数に）ができました。このときの採決は記名方式によるものです。	報告会で回答	4班
	財政	名取市の市債はいくらか。	資料により回答しました。	報告会で回答	
	職員	職員が現場なり、庁外に出るとき2人かそれ以上で出かけている。民間から見れば無駄に見えるが。	ご指摘の件については十数年前から指導しており、現在2人以上で出ているのは家屋評価や滞納整理等、複数名での確認が必要と思われる作業と考えられますが、なお、指導徹底を図り執務能率の向上に努めます。	市長	
	まちづくり	市内（特に名取が丘地区）に昼間でも街灯が点灯しているところがある。無駄である。点検をしないのか。	街路灯の修繕については、優先順位を決めています。まず、夜間消えているものを修繕の第一位として、すぐに対応をしています。次に昼間点灯しているものについては、優先順位を第二位として、定期的にまとめた対応としております。	市長	
合併について、市民アンケートをとってはどうか。		仙台市との合併の動きは無いが、連携は必要です。名取市と岩沼市の議員とで、合併を前提としたものではないが「広域を考える議員の会」を立ち上げ、話し合いを始めました。	報告会で回答		

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
名取が丘	公用車	市役所には自転車はないのか。もっともエコなはず。活用すべきだ。	市役所でも公用車以外に自転車を数台所有していますが、用事の内容、現金の取扱いや荷物の有無などを使用状況を考慮して、効率の良い事務遂行を図っています。	市長	4班
	行政改革	第3次行政改革プラン、集中改革プランの成果について伺う。数値達成の公表がない。	現在成果の公表は行っておりませんが、今年度中の策定を予定している次期計画については、成果の公表ができるよう進めてまいります。なお、第三次行政改革大綱の理念を踏まえて策定した集中改革プランの達成状況については、平成21年4月1日現在で、33項目中25項目が実施済みと捉えております。（「検討」としている項目などを除く集計。）	市長	
	建設部 まちづくり	老朽化が進む市営住宅名取団地について、どう考えているのか。	現在の「名取団地建替基本計画」の見直しと市全体の計画として、「公営住宅等長寿命化計画」の策定の必要性がありますが、財政的状況を踏まえながら、計画を検討して参りたいと思います。	市長	
	衛生	「ごみの出し方」リーフレットが毎年配布されるが、内容を見るとほとんど同じ内容である。違う点は3ヶ所程度のような。毎年の配布はむだでないのか。	名取市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 一般廃棄物の処理計画第3条 市長は、法第6条第1項の規定による一般廃棄物の処理計画を定め、毎年度の初めに告示する。とあります。これに基づき市民の皆様に「リサイクル16分別とごみ2分別の出し方」を配布しています。内容の変更につきましては、市民の皆様のご要望並びに市として皆様が利用し易いように検討して変更しています。	市長	
		ごみ集積所を衛生的にきれいにしてほしい。ふたつきごみボックスを統一して揃えてはどうか。集積所でまちまちだ。また、プラスチックのケースが汚れている。改善をすべき。	ごみ集積所につきましては、その場所々々により、道路脇にあるもの、集積所として予め設置されているもの等設置場所は様々な状況です。集積所の作りも様々です。このような条件の中でボックスの統一した設置は難しい状況です。また、集積所の清潔保持は利用者皆様のご協力無では出来るものではありません。集積所は市内千箇所を超えコンテナ等につきましては洗浄をして清潔に努めていますし、プラスチック、紙製容器のコンテナは順次更新をしておりますが追いつかないのが現実です。 今後とも皆様のご理解ご協力無しでは集積所の清潔保持は保たれません。	市長	
	教育	愛島小では児童数が増えて今改築しているそうだ。不二小は減となっているが、愛の杜地区について、不二が丘小学校の学区に変更するなど、学区を柔軟にできないのか。	愛の杜地区については、現在「名取市立学校通学区域調査会」で検討をいただいています。22年度に答申をいただき、教育委員会の結論を出す予定です。	市長	
		図書館の蔵書が少ない。充実させるべき。また、新図書館の建設はどうなっているのか。	図書館の蔵書の充実を進めています。また、新図書館の建設については「新名取市図書館整備基本計画」を作成したところであり、今後、関係課と検討していきます。	市長	
	市民墓地	市民墓地はどうなっているのか。	市民墓地の整備の市民ニーズがあることは承知しており、整備規模等にこだわることなく具現化を図りたいと考えています。現在策定中の第5次長期総合計画に位置づけし、関係寺院との調整、整備地の選定及び関係地区へのアプローチ方法並びに事業手法など、多岐にわたる整理事項について調査・研究を深め実現に向け取り組んでまいりたいと考えています。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
名取が丘	介護	名取市の介護保険料が県で最も高い。一般会計からの補填などできなかったのか。なぜ高くなったのか。	介護保険法第124条で、市町村は介護給付及び予防給付に要する費用の額の12.5%を負担する義務規定があり、一般会計からの補填はできません。県で一番高くなった理由としては、市内に介護サービスを提供する事業所や施設がある他、仙台市に近いことから介護サービスを受けやすい環境にあること。また、18～20年度においては基準月額3,680円でしたが、この3年間で見込みを上回る介護サービスの利用がありました。他市町村は介護給付費準備基金を取り崩して保険料の上昇を抑えているところもありますが、名取市では既に取り崩しており、不足した分は県から借入いたしました。借入した分は、21年度から23年度までの3年間で返さなければならないことも保険料上昇の要因となっています。	市長	4班
		地域包括支援センターの役割がよく分からない。	地域包括支援センター職員と一体となってPRに努めてまいります。	市長	
		介護保険料の6段階と7段階の区分の仕方について。6が高くなったのはなぜか。5と6、6と7の差が疑問だ。	低所得者への配慮の考え方から、保険料の区分を6段階から7段階に負担段階を増やしました。6段階の割合については、基準額の1.5倍となっており、20年度と変更はありません。第以上の5段階の方は基準額以上をご負担していただいておりますが、本人が市民税が課税され前年の合計所得金額が200万円未満の方は第5段階で基準額の1.25倍、200万円以上500万円未満の方は第6段階で基準額の1.5倍、500万円以上の方は基準額の1.75倍の割合としているところです。	市長	
増田西	議会活動	議会改革はどのように進められるのか。	昨年6月に議会改革特別委員会を設置し検討しています。議会報告会もその一つであり、その中での意見を聞きながら、市民とともに改革します。	報告会で回答	2班
	財政	市債の借入れは一般から行わないのか。	地方債資金については、毎年度国の地方債計画によりその額が定められておりますが、借入先につきましては、財政融資資金、地方公共団体金融機構、民間等資金の3つに分けることができます。そのうち民間等資金につきましては、現在では市場公募と銀行等引受に分かれており、名取市では、市内に支店のある銀行や農協等の金融機関からの借入を行っております。 市債の個人からの調達方法としては、住民参加型の市場公募債の発行が行われております。宮城県でもみやぎ市町村県共同の「ケヤキ債」を発行しております。 公募を行うには、一定規模以上の発行額と継続的な発行が必要不可欠であり、商品化やコスト面を考慮すると、名取市独自で発行することは現状では難しいと考えております。 しかしながら、資金調達方法を多様化し、市民の行政参加や理解を得るためには、今後、発行目的や対象事業、発行額など条件が合致するケースがあれば、「ケヤキ債」への参加を検討することも必要であるとと考えております。	市長	
	河川	増田川の手町親水公園より下流全体で川底の土砂が堆積して草が茂っており、自転車等の不法投棄もされている。	堆積土砂の撤去につきましては、増田川を管理している宮城県仙台土木事務所で対応しております。 維持管理としては災害を防ぐため河川内の樹木伐採や土砂撤去を行っておりますが、特に現況が悪化している場合は、市から状況を連絡し現地確認後に対処していただいております。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
増田西	河川	小山地区の河川改修の残地について、花植を地元で行っているが、地域の人だけで管理を行っている。補助も減額が続いているが、どういことか。	地域のボランティア活動である花いっぱい運動については市の補助を受けている名取市環境衛生組合連合会より市内各地区の実施団体に対し苗代を補助しています。近年、実施団体が増えるなど事業規模も大きくなっており、1団体当たりの割り当てが減少しています。現状では補助の増額は難しいと考えています。	市長	2班
	建設部 まちづくり	名取駅西口生協のところに、常時70～80台の不法駐輪が見られる。対応してほしい。	名取駅西口広場の生協側には、20～30台の放置自転車があります。定期的に、あるいは不定期に放置自転車の撤去をしています。また、自転車マナーアップ強化のため、放置自転車クリーンキャンペーンを実施しています。	市長	
	衛生	町内会等で実施している一斉清掃の条例はあるのか。また草刈作業で事故があった場合、補償はされるのか。	一斉清掃の条例はありません。事故の補償は市にあらかじめ清掃実施日を届けるようにすればよいのですが、事後報告でも適用されます。	報告会で回答	
	観光	観光について名取市ではどのように対応しているのか。また、観光協会と連携し、高齢者の力も生かしながら、観光市民ボランティアを創設してはどうか。	観光について、市としての対応は観光施設の紹介及び環境整備等を行うとともに、市内各種のイベント等の諸観光行事について、関係団体等と連携のもと実施または支援することにより、観光振興を図っているところであります。 観光市民ボランティアの創設は、市内の各種団体等が活動しているなかで種々のボランティアを実施していただいていることから、醸成を重ねたうえで集約に結び付けていければと考えております。	市長	
相互台	議会活動	議員の視察旅行の成果が全く見られない。	議会だよりで行政視察の報告をしています。行政視察の成果を市政に反映させることについては、一般質問及び当初予算質疑等において行っています。	議長	3班
	公共交通	なとりん号については名取市役所まで運行してほしい。	相互台線を含む生活路線については、小型バス1台と10人乗りワゴン車2台により6路線を運行しております。 限られた条件の中における運行において、1路線における増便は他の路線の減便等にもつながることとなることから御理解いただきたいと思います。 また、運行ルートの延伸についても、1便当たりの運行時間の延長に伴う他の路線への影響は避けられないものとなることから御理解いただきたいと思います。	市長	
		仙台市のようなフリーパス乗車券の発行に取り組んでほしい。	なとりん号は、運賃・定期券の料金設定及び各種割引など、安定的かつ持続的に公共交通を維持していく上で、可能な限りサービスの拡充に努めています。現状においても、福祉バス乗車券・タクシー利用券交付事業に取り組んでいるところであり、現時点においてフリーパス乗車券の発行に取り組むことは考えていません。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
相互台	財政	2. 21年度当初予算歳入の借換債について 金利と返済金の差額について	一般会計歳入中21款市債1項市債6目借換債2,609,441千円につきましては、平成20年度で借入を行った土地開発公社貸付債について、平成20年度末現在高から平成21年度返済予定額を差し引いた残りの額を年度末に返済するために借り換えするものです。 この土地開発公社貸付債は、借入先金融機関との協議により返済期間は1年となっており、平成24年度まで毎年借換債により返済することになります。 なお、この借換債の金利につきましては、一般的な高金利から低金利への借り換えとは違い、資金調達のための借換債であり、借換時点の金利により異なります。 (参考) 平成20年度末現在高 3,041,024千円…① 平成21年度中返済予定額 431,583千円…② 平成21年度借換債(額) (①-②) 2,609,441千円	市長	3班
	衛生	ごみ最終処分場は棟沢に決定したのか。突然の新聞報道により知った。もっと早く連絡すべきである。	高館熊野堂字棟沢については、最終処分場用地の候補地として選定したもので、正式に決定したものではありません。 次に、市民に対する周知については、平成21年1月9日の議員協議会において議員各位に説明がなされ、同日午後7時より、相互台公民館で地元説明会が開催されました。新聞報道は、翌日の1月10日になされたものです。その後、ゆりが丘・みどり台地区を対象とした説明会を開催するなど、しかるべき段取りを踏まえ、市民に対する周知が行われましたが、改めて広報なとり等での周知には至りませんでした。	経済教育 常任委員会	
	介護	介護保険料が県内一高いのはなぜか。	施設利用者の増が見込まれること、借入金の返済、介護報酬3%上昇分等が含まれることによるものです。	報告会で回答	
		地域抱括支援センターの役割について	主に相談業務です。認定の判定は市で行います。	報告会で回答	
	子供	保育所の待機児童について	児童数は80名です。しかし、現在増田保育所にプレハブ園舎を建設し、30名の入所に対応しました。22年4月には民間による保育所が美田園地区に開所の予定です。定数は90名です。よって、待機児童は解消される見込みです。	報告会で回答	
ゆりが丘	議会報告会	今後も議会報告会を開催してほしい。同じメンバーで来てほしい。(地元の議員も)	年2回程度予定しています。	報告会で回答	
		議会報告会について、ゆりが丘地区は有線放送で周知すべき。	有線放送があることは知りませんでした。今後、活用したいと思えます。	議長	
	公共交通	現在のなとりん号の便数では、那智が丘から名取市内の病院への通院が不便である。なとりん号の日中の便数を増便してほしい。また、運行ルート在市役所まで延伸してほしい。	相互台線を含む生活路線については、小型バス1台と10人乗りワゴン車2台により6路線を運行しております。 限られた条件の中における運行において、1路線における増便は他の路線の減便等にもつながることとなることから御理解いただきたいと思います。 また、運行ルートの延伸についても、1便当たりの運行時間の延長に伴う他の路線への影響は避けられないものとなることから御理解いただきたいと思います。	市長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
ゆりが丘	財政	市の外郭団体・財政援助団体の数と補助金の額はいくらか。また、監査はどうなっているのか。	約80です。各部・課・出先機関・財政援助団体も含めての監査は3年で回すように計画されています。過去に不備を指摘した事例もあります。監査の講評については市幹部に対して、年2回実施をし、注意を喚起しています。監査は適正に行われていると思います。	報告会で回答	3班
	公民館・区長	区長制度は、山手・中通り・浜通りと分けて見直すべきである。また、募金活動は大変な仕事である。	現在名取市集中改革プランに基づいてH20、H21年度において区長制度のあり方を検討しています。区長制度の運用に関して、地域ごとにその実状に違いがあることは承知しているところです。しかしながら、地域ごとに異なった制度を運用するとなると徒に事務が煩雑になることも考えられるため、できるだけ統一的な制度運営を行うことが望ましいと考えています。区長の機能を十分に検討しながら制度を見直しを進めています。	市長	
	職員	市職員互助会への助成金について、県内で3市（名取市含む）に補助金が出されていたが、そのうち2市が廃止をした。名取市はなぜ継続しているのか。	宮城県のホームページによると平成20年度は名取市を含む5市8町が補助金を支出しているようです。名取市では既に補助内容を見直しており、本来実施すべき事業主である市に代わって実施した職員の健康維持事業（人間ドック等）の実績に助成する方式に改めておりますが、平成21年度からは市の直接実施として平成20年度実績に対する助成を最後に補助金の廃止を決定しています。	市長	
	まちづくり	ゆりが丘の将来のまちづくりを市はどのように考えているのか。また、高齢化も進んでいるが、若い人も戻ってきている。子育て教育に適した環境を引き続き守っていくための市の将来ビジョンをどう考えているのか。	団地開発から約20年が経過した当団地は、将来的に住民の高齢化が進み、コミュニティのい児に関して問題が生じると考えております。このため、地区内での生活利便機能の確保や利便性向上による若年層入居者の呼び込みなど、将来を見据え良好な市街地の維持のため、福祉政策と共に対応を検討していく必要があると考えています。 全ての市民の方々がいつまでも自分らしく暮していける街の創造が理想です。中でも、安心して子どもを産み育てられる環境の充実は、名取市のみならず多くの自治体が抱える課題でもあります。現在、平成32年度を目標とする第5次長期総合計画の策定に着手しているところであり、この中に名取市のビジョンを定めこれに基づき各種施策に取り組んでまいりたいと思います。	市長	
	道路	海に見える丘公園の整備をお願いしたい（遊具・フェンス等）。草刈を月2回と約束したが来ていない	公園施設については老朽化しているため、施設点検を行い修繕に努めております。また、公園内の除草は年3回、法面の除草は年1回行っております。	市長	
	建設部 まちづくり	中心市街地活性化基本計画はどうなっているのか。（少しも進んでいないのはなぜか）	現在2回目の計画策定に取り組んでいるところではありますが、さまざまな制約があり進んでいません。 しかし、名取駅東口に再開発事業による複合ビル建設の構想があり、まちづくりの起爆剤にしようとしています。計画を公募し、11月までには業者を選定し実行しようとしています。	報告会で回答	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
ゆりが丘	衛生	ごみ最終処分場の説明会が前回流会になったので、早く開いてほしい。	新一般廃棄物最終処分場建設用地選定に伴う地域説明会を平成21年5月26日（火）に相互台公民館を会場に開催しました。流会の事由として、スクリーンを使用しての説明で字が小さく見えない、紙ベースの資料を用意していない、分かり易い説明をすること等種々要望と選定方法についての質疑が多く出されました。以上のことを踏まえどのような資料、説明の仕方をするか慎重に協議をしております。住民の皆様理解をいただけるように行うため、十分な資料と説明が出来るよう取り組んでいます。	市長	3班
	教育	ゆりが丘小学校の校庭の水はけが悪いので整備をお願いしたい。	校庭を含め学校施設の整備・改修については、児童生徒の安全性や緊急性を優先し実施しています。校庭の水はけの悪さについては、暗渠排水が長年の使用により機能低下していることが原因と考えています。その機能回復には大規模な改修が必要で、改修期間中は校庭が使用出来ない等の問題もあり、今後計画的な整備について検討したいと考えています。	市長	
	介護	介護保険については、元気な高齢者の社会参加の機会を拡充し、予防にもっと力を入れるべきである。また、観光案内ボランティア等、働く場を作るべき。さらに、高齢者のいきいきできる場所づくりとして、パークゴルフ場の整備を図るべき。	市では高齢者の社会参加のため、老人クラブへの支援、老人スポーツ大会の開催、高齢者大学、各講座等を開催しております。 また、今年度から地域包括支援センターを3箇所を増やし、より地域の密着した場所で介護予防教室等を行っております。さらに、高齢者のボランティア活動や就労等については、高齢者の持つ知識や豊富な経験を生かし働けるようシルバー人材センターを支援しているところです。 なお、高齢者の働く場の提供については地域職業相談所やシルバー人材センターの活用が挙げられるところであります。	市長	
那智が丘	議員定数	議員定数を減らし、報酬を上げるべき。	名取市議会では、昨年6月に「議会改革特別委員会」設置し、議会の一層の活性化やその果たすべき役割を認識し、議会の自己改革を進めることを目的に、次の3項目が付託され調査検討をしてきました。 1 「住民と議会との意思疎通の充実にすること」 2 「議員の処遇と議員定数等に関すること」 3 「政策形成機能の充実にすること」 この中で、市民アンケート調査や先進地視察などを行い、中間報告をまとめております。 今後、これらの要請事項も含め、さらに議論を深めて12月の最終報告を目指し、名取市議会の改革について方向性を出すため検討中であります。	議会改革特別委員会	
	議会活動	本会議を傍聴したが、もっと多くの議員が発言すべきである。	本会議だけでなく、常任委員会等で多くの議員が発言しています。	報告会で回答	
		議員（24名）の活動が分かるようにしてほしい。（個人のブログ等を作成したらどうか）	議員活動は、公的には本会議、委員会等であり、その活動状況は、本会議等で報告しています。私的な活動については、議会は関与していません。ブログ等の開設は、議員個人で判断すべきものだと思います。	議長	

地区	分類	(A)出された主な意見・提言等	(B)意見・提言等に対する回答	担当	班
那智が丘	公共交通	なとりん号を利用して那智が丘から市役所まで行こうとすると、名取駅から市役所まで歩いていくかタクシーを利用しなければならない。なとりん号の発着点を市役所にしてほしい。また、福祉バス乗車券は3,000円では不足である。デマンドタクシーの運行を実施してほしい。	なとりん号の運行路線については、名取市公共交通計画において市内のJR東北本線駅等の各駅を起点とした編成を行っております。名取駅から市役所までの運行ルートを延伸した場合、1便当たりの運行時間の延長から他の路線への影響は避けられないものとなりますことから御理解いただきたいと思っております。 デマンドタクシーの運行については、公共交通計画策定時に事前予約のわずらわしさ、予約センターの設置や人員配置、ドライバーへの伝達システムの構築に係る経費等勘案し、導入を見合わせる事が適当との判断をした経緯がありますことから御理解いただきたいと思っております。	市長	3班
	防災	自主防災組織への助成金が少ない。公民館を防災センターにできないか。	自主防災組織支援事業補助金につきましては、防災の啓発に要する経費として2万円と組織に係る世帯数に100円を乗じた額と、防災資機材購入経費として購入経費の4分の3に相当する額(限度額15万円)の合計額を交付するもので、平成18年度より実施してきております。この助成金はあくまでも各町内会等が自主的に整備する資器材等に対するものであり、その支援という考え方で助成してきておりますのでご理解願います。また、公民館を防災センターにできないかとのことですが、公民館は平常時には社会教育・地域コミュニティ等の役割があります。 また、災害発生時には避難所としての役割があり防災センターとしての機能を担う体制とはなっておりませんが、今後、地域の自主防災組織の連携を図っていく中で、検討させていただきたいと考えております。	市長	
	公民館・区長	区長制度についてアンケート調査が実施されたが、目的とその後どうなっているのか。	議会には報告はありません。見直しについて検討中であることは認識しております。	報告会で回答	
		海側と団地を比較してみても、地域ごとに区長としての役割が違っている。その地域に合った区長制度に見直しを行うべきである。	現在名取市集中改革プランに基づいてH20、H21年度において区長制度のあり方を検討しております。区長制度の運用に関して、地域ごとにその実状に違いがあることは承知しているところです。しかしながら、地域ごとに異なった制度を運用するとなると徒に事務が煩雑になることも考えられるため、できるだけ統一的な制度運営を行うことが望ましいと考えています。区長の機能を十分に検討しながら制度を見直しを進めています。	市長	
	建設部 まちづくり	精度の高い防災マップを作成するため、宅地造成時の切土・盛土の識別データが欲しい。	資料収集に時間を要しますが大規模団地開発時の造成データの提供は出来るかと考えています。	市長	
	衛生	迷惑防止条例(犬の糞害)の制定はできないか。	犬の糞害に対する条例については全国的にも事例はあります。制定においては、実効性のある内容が求められるので、今後、調査研究していきたいと考えています。	市長	